



<来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位: 億円)

日付	資金需給予想			主な要因	オペ期日	オペスタート	イベント	
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足					
5/31 (月)	+ 700	▲ 7,900	▲ 7,200		CP等買入 補完供給	▲ 3,800 + 200	国債買入 + 11,400 CP等買入 + 4,000	日: 鉱工業生産 (前月比・前年比) (4月) 欧: ユーロ圏マネーサプライ (4月)
6/1 (火)	+ 1,000	▲ 22,000	▲ 21,000	国債発行償還 (2年)				米: ISM製造業景況感指数 (5月) 欧: ユーロ圏製造業PMI (5月) 欧: ユーロ圏CPI (5月) 欧: ユーロ圏失業率 (5月)
6/2 (水)	トン	▲ 45,000	▲ 45,000	税・保険揚げ 普通交付税交付金	成長基盤	▲ 8,600		日: 安達日銀審議委員、静岡県金融経済懇談会 で講演 (オンライン) 日: マネタリーベース (前年比) (5月) 米: ページブック 米: フィラデルフィア連銀総裁講演
6/3 (木)	トン	+ 1,000	+ 1,000		成長基盤	▲ 2,000		米: フィラデルフィア連銀総裁講演 米: クオールズFRB副議長講演 米: ADP雇用統計 (5月) 米: ISM非製造業総合景況感指数 (5月)
6/4 (金)	トン	▲ 26,000	▲ 26,000	国債発行 (10年)				G7財務相会合 (5日まで) 米FRB議長とECB総裁、討論会に参加 米: 雇用統計

<インターバンク>

日銀当座預金残高は週初526兆7,500億円から始まった。25日の新型コロナ対応金融支援特別オペ、国債買入オペ、社債買入オペや、27日の国庫短期証券買入オペなどの要因で大きく増加し、週末には529兆2,700億円となった。

無担保コールON物加重平均金利は、週初は△0.015%と先週と横ばいであったが、週末にかけ地銀業態を中心に調達ニーズが弱まり、低下していく展開となった。週末28日は3日積みであるが傾向は変わらず、2021年3月以来約2か月ぶりとなる△0.025%まで低下した。

総務省が28日に公表した4月の労働調査によると、完全失業率 (季節調整値) は2.8%で前月比0.2ポイント上昇した。上昇は2020年10月以来6か月ぶりとなった。

来週の主な予定は、国内では4月鉱工業生産 (前月比・前年比) の公表 (31日) 及び5月マネタリーベース (前年比) の公表 (2日) などが、海外では米ページブックの公表 (2日) 米雇用統計の公表 (4日) などがあ

[無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	△0.080 ~ 0.001
1M	△0.040 ~ 0.030
2M	△0.010 ~ 0.040
3M	0.000 ~ 0.100
6M	0.000 ~ 0.130

[オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	△0.050 ~ 0.00
CP 3M	△0.060 ~ 0.00

<レポ>

足許GC取引は週初△0.10%近辺の出合いから始まった。短期買入オペが実施された26日の取引では、一時△0.10%前半の出合いも見られレートは低下した。短期3Mの入札日である28日の取引では、△0.09%台まで上昇し越週した。SC取引では2年409~424回債、5年136~147回債、10年331~362回債、20年164~176回債、30年59~70回債、40年9~13回債などに引合いが見られた。

<CP>

今週の入札発行総額は約1兆2,800億円で、週間償還額 (約9,000億円) を上回った。入札発行市場は、月末発行は期落ち程度の発行に止まったが、連日複数の業態での大型案件がオファーされ、活況なマーケットとなった。発行残高は先週末の23兆8,367億円から、27日時点で2兆550億円に増加した。26日に、CP等買入オペが予定通り4,000億円でオファーされた。結果は、按分レート△0.010%・平均落札レート△0.006%と前回比 (按分レート△0.014%・平均落札レート△0.011%) で上昇した。

来週の週間償還額は、約1,200億円程度となっている。発行市場は、月初で新規発行が少なく見込まれるため、期落ち額と同額程度の発行額と思われる。発行レートは、投資家の運用ニーズが強く、マイナスから0%近辺の出合いが中心と思われるが、6月末越えの日銀オペ等の対象銘柄や希少銘柄では、今週同様強いマイナスレートでの出合いを予想する。

<TDB>

5月24日入札の6M996回債は、最高落札利回り△0.1070% (前回債△0.1050%)、平均落札利回り△0.1090% (同△0.1090%) となり、前回債と横ばいの結果となった。5月28日入札の3M997回債の入札は、最高落札利回り△0.1062% (前回債△0.1042%)、平均落札利回り△0.1122% (同△0.1046%) となった。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。